



私たちがしか言えない事を

主張していくべき

第十八回北九州市障害福祉団体連絡協議会定期総会開催
六月六日(土)十時から、ウエルとばた十二階二一・一二会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下障団連)の第十八回定期総会が行われました。「さわやか」から三名が出席しました。

初めに、障団連の中島和子事務局次長から開会宣言がありました。

要望をしっかりと

この仕組みのなかに
続いて北原守会長から「国が進めている障害福祉計画が二〇〇九年から始まり、六年が経過し、形や仕組みが出来てきていますが、これから大事なことは、形や仕組みに対してどのような魂を入れるかです。

当業者団体の考え方、要望をしっかりと聞いてこの仕組みの中に入れていただき、これからは、実行性を求め、辛抱強く、粘り強く、私たちでしか言えない事を主張していくべきではないかと考えています」と挨拶されました。



北九州市
障害福祉団体連絡協議会
北原 守会長

次に来賓として北橋健治北九州市長をはじめ、北九州市議会の山本真知子副議長、北九州市社会福祉協議会の柏木修会長、北九州市障害福祉部の戸島光義障害福祉部長からの祝辞がありました。北九州市らしい

共生社会の実現を目指す

北橋市長は「日頃より各団体間の理解、連携を深める活動を行って、障害のある方達が地域で安心して暮らしていけるように共生社会の実現を合言葉に日々すばらしい活躍に感謝いたします。

障害者差別解消法が来年の四月に施行されますが、北九州市らしい共生社会の実現を目指して連絡協議を三月に立ち上げ、差別解消に向けて意見交換を進めています。

事務局よりお盆休みのお知らせ

8月13日(木)から

8月16日(日)まで

お休みします。



北橋健治北九州市長

また、ハンディのある方々にとって雇用とは益々重要な課題となっています。

そのために、共生社会の実現をしっかりと目指していきたい」と挨拶がありました。

続いて議長に北九州市自閉症児者の未来を考える会の森山謙治氏が選任され、

災害支援と差別解消法の問題は

私たちにとって大事な課題

六月二十日(土)にウエルとばた七階連絡事務室(大)で、北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下障団連)主催で「平成二十七年第一回障団連の全体会」が開催されました。「さわやか」から四名が参加しました。

今回は、障害福祉課の足立守行企画調整係長を迎え、「北九州市『災害時障害者サポートマニュアル』の概要説明と意見交換」と題して行われました。

初めに障団連の古賀由美

承認されました。障団連事務局より、加盟団体数三十九団体、出席団体数二十七団体、委任団体数十二団体でこの総会は成立する旨、報告がありました。その後審議に入り、平成二十六年事業報告及び決算報告、会計監査報告の報告がありました。

また平成二十七年事業計画及び収支予算(案)が提案され、満場一致を以て承認されました。全ての議事が終了し、総会は十一時五十分閉会しました。

本日、総会の前に障団連の第一回研修会として、北九州市障害福祉課の方より「平成二十七年新規事業の説明」と「障害者差別解消法について」の研修会がありました。詳細は『さわやか』新聞の次号に掲載いたします。



道は共生社会なので、地域と付き合って、仲良くしていく活動もしていきましょう。さらに災害支援と差別解消法の問題は私たちにとって大事な課題です。お互いに協力をしていきましょう」と挨拶があり、その後、研修会に入りました。

初めに足立係長は「今回は、北九州市の『災害時サポートマニュアル(案)』様々な障害のある方を支援する人に知ってほしいこと」の資料を配布させていただいていますが、この内容につきましては、後ほど目を通させていただきたいと思

もつことが大事
自らの意見を

続いて北原守会長は「国の制度改革も一応の形が整ってきて、これから実行に移す時期に入ってきました。そのために、私たちが制度改革について勉強をして自らの意見をもつことが大事になってくると思います。もう一つは、制度改革の

また、皆様からのご意見をいただきながら、より良いものを作成していきたいと思っております」と話されました。

(裏面へつづく)

「さわやか」

透析患者の災害時の取り組み

個人の医療情報を

カードや専用の手帳に

福岡県内の透析患者は、『防
災メールまもるくん』を携
帯電話などに登録するよう
に各病院で指導されています。

その他

に各都道
府県の患
者会の組
織や病院
ごとに個
人の医療
情報をカ
ードや専
用

氏名 さわやか 花子
私は透析患者です。透析治療が必要です。
生命維持のために、透析治療が必要な患者は
かかりつけの透析施設に
〇〇〇×××病院
アドレス ΔΔΔ.××@□□.ne.jp
TEL 123-456-7890
FAX 123-456-7890
〇〇県××市△△区☆☆町〇丁目〇番〇号

(表面よりつづき)

続いて林芳江副会長は「各
団体の持ち合わせている情
報や取り組み、意見などを
話していただきたいと思っ
ます」と話されました。

(一部抜粋して紹介)

〇福岡県脊髄損傷者連合会
北九州支部・具体的な内
容は計画をしていないのが
現状です。

皆さんの話を聞いて、参
考にしながら、取り組んで
いこうと思っています。

〇日本オストミー協会・
一番大事なことは人工肛門
及び人工膀胱増設者なので、

用の手帳にして財布やバッ
クなどに入れておくように
しているところも多くあり
ます。

非常持ち出し袋に『全腎協』

全国腎臓病協議会(以下
全腎協)でも災害時手帳を
会員に配布しています。

また、東日本大震災後に
全腎協では非常持ち出し袋(リ
ュック型)を作り、一目で
透析患者であることがわか
るようにしました。

これは、大震災の直後に
体育館などの大きな施設に

畜便や畜尿をためる袋が無
いことが非常に困ります。

それらの器具類をどのよ
うに確保するのが最大の
関心をもっています。

〇北九州市をつなぐ育成会・

親の会・早い段階で障害
があることを分かっていた
だけのように独自に支援ノ
ートを作成して、支援を任
せる時に活用しています。

また、連絡先などの必要
な情報が記載できる携帯用
カードなどの様式があると
良いと思います。

〇福岡県視覚障害者友好協
会北九州支部・全国で、

避難をして

きた人を受

け入れ、混

乱している

中、自分が

透析患者だ

と言えなか

ったという人がいたとい

話があつたためです。

災害に対する備えは

準備しておく必要がある

残念ながら現在はこの非

常持ち出し袋は販売されて

いませんが、他人事ではなく、

いつ自分の身に起きるかわ

からない災害に対する備えは、

準備しておく必要があるの

ではないでしょうか。

数年前に防災ハンドブックを

作成しました。

視覚障害者は自宅から避難
所までの移動手段が一番不安
です。

〇北九州市身体障害者福祉協

会・平成十一年頃に一般市
民向けに障害のある方の対応
マニュアルや職員向けに災害
時の行動マニュアルを作成し
ました。

仙台の身体障害者福祉協会
の方に話をしていたいたり、
『生命(いのち)のことづけ』
の映画を撮られた監督をお招
きしてシンポジウムを開きま
した。



障団体との連携を取りな
がら、活動しております。

〇北九州市自閉症協会・

日本自閉症協会のホームペ
ージから防災支援ハンドブ
ック(本人・家族用と支援
者用)をダウンロードする
ことが出来ます。

その中に『助けてカード』
があり、普段持ち運ぶこと
が出来ようになっています。

〇北九州市聴覚障害者協会・

聴覚障害者安否確認マニ
ュアルを作成しました。
外見では聴覚障害者であ
ることが判断できないので、
緊急時用バンドナを作りま
した。

黄色が聴覚障害者、ピン
クが手話サークルであると
いうことを色で分けて示し
ています。

〇北九州精神障害者家族会
連合会(あかつき会)・
服薬管理が一番大事だと思
います。

障害者別に薬の種類が違
うので、災害時にどのよう
に対処するのが不安です。
などの参加した団体の方々
から意見や要望が出されま



した。

これらの意見や要望に対
して足立係長が「各団体か
らサンプルをいただき、参
考にしながら今後、災害時
障害者サポートマニュアル(案)
を作成していこうと思いま

す。また、資料と一緒に『災
害時障害者サポートマニ
ュアル(案)に関する意見シ
ート』も配布しております
ので、要望等がありましたら、
記入をしていただき、FAX
またはメールでご返信し
てください」と回答されま
した。

その後、平成二十七年
度加盟団体の要望活動と差
解消法に関する意見交換
がありました。

共有していく

最後に古賀事務局長が「障
害者差別解消法連絡会議の
中で相談体制について課題
となっております。

皆さんの発言する場もあ
りますので、ぜひ関心をも
って傍聴していただきたい
と思います。

今後も全体会を通して、
会員の皆さんと情報を共有
していきたいと思っていま
すので、よろしく願いま
す」と話され、研修会は
正午に終了しました。